

環境GS認定制度からエコアクション21へ ステップアップしませんか？

環境マネジメントシステム「エコアクション21」は、中小事業者の環境経営への取組を推進するため、環境省主導でスタートした日本独自の認証・登録制度です。国際標準化機構のISO14001規格を参考としつつ、中小事業者にとっても取り組みやすい環境経営システムのあり方を規定しています。この環境経営システムを構築、運用、維持することにより、環境への取組の推進だけでなく、経費の削減や生産性・歩留まりの向上等、経営面でも効果があります。全国で既に7,760社が、群馬県内でも239社が認証を取得しています。(令和3年2月末現在)

エコアクション21取得の流れ

エコアクション21を企業で実施する際の主な流れは、以下のようになります。



参考・出典 エコアクション21 中央事務局ウェブサイト (<https://www.ea21.jp/starter/flow/>)

エコアクション21認証・登録支援事業について

群馬県では、エコアクション21地域事務局と共同し、エコアクション21認証・登録支援事業を実施しています。この事業では、エコアクション21認証・登録に向けた集合コンサルティングを無料で実施し、県内事業者のエコアクション21の登録を支援しています。集合コンサルティングでは、登録に向けた企業内での取り組み方について、エコアクション21地域事務局職員やエコアクション21審査員から、直接アドバイスを受けることができます。例年、4月頃に認証・登録支援事業の事前説明会を実施し、6月頃に支援事業への申し込みを行っていますので、是非ご参加ください。

GS事業者の横顔

太陽誘電テクノソリューションズ株式会社



認定番号 180029
住 所 高崎市八幡原町43-1
電話番号 027-346-9903
従業員数 130名
事業内容 電子機能モジュール及び
ユニットの製造
代表者 代表取締役 赤石 正幸
GSマネージャー 角田 敦
GSサブマネージャー 上原 浩隆
GSサブマネージャー 須藤 尚美

わが社の一押し

当社は、1980年から太陽誘電グループの一員として、自動車やエレクトロニクス関連商品に組み込まれる機能モジュールやメインボードなどの実装プロセスで培った先端実装技術とノウハウを糧に、お客様のニーズにタイムリーに応える為の高度化を果たしております。

お客様から求められる商品・機器の小型化や高機能化・複合化に貢献出来る実装技術ソリューションをコアコンピタンスとして、これからも世の中のニーズに真摯に取り組み、持続的な価値の提供を使命として、社員全員でお客様をサポートしてまいります。

現場からひとこと

エネルギー削減対策として、高効率空調設備の定期的な入れ替え（2020年度4台）、圧縮エアー設備のインバータ機への置換え、製造工程においては高効率リフロー（半田付け）炉の導入やタブレット端末などを活用した生産工程情報の電子化とペーパーレス化に取り組むことで、資源使用量の削減を推進しています。今後もさらなる環境活動に社員一同で積極的に取り組んでいきます。

株式会社プランニング



認定番号 190381
住 所 前橋市棚島町161-5
電話番号 027-290-3232
従業員数 48名
事業内容 システム開発、パッケージソフト開発・販売、
スマートフォンアプリ開発、各種Webサイト構築、
ネットワーク・インフラの設計・構築
代表者 代表取締役 町田 英之
GSマネージャー 山口 博孝
GSサブマネージャー 石井 孝幸
GSサブマネージャー 須藤 瑞季

わが社の一押し

弊社は、1981年にソフトウェア開発企業として創業致しました。「強く必要とされる存在になる」を経営理念とし、常に先進の技術を蓄積し、幅広いお客様の業務システムとネットワーク構築などをサポートしてIT分野の変化とともに成長を遂げてきました。

今後もお客様から必要とされる「商品・サービス」を提供していくことを使命としてお客様が求める成果を提供できる繁栄発展のパートナーであり続けるための企業でありたいと考えております。

現場からひとこと

環境GS認定を取得して14年目になります。当初より「省エネ」「紙使用量の削減」をテーマに掲げ、「照明のLED化」、「休憩時間の消灯」、「コピー用紙使用量削減のためのペーパーレス化への取り組み」等、従業員一同、積極的に行っております。今後も環境を意識した活動を従業員一同、積極的に取り組んでいきます。

株式会社物流サービス



認定番号 211153
住 所 前橋市下大島町454-4
電話番号 027-266-6541
従業員数 71名
事業内容 物流業、運送業
代表者 代表取締役 大谷内 光男
GSマネージャー 町田 泰一

わが社の一押し

物流会社として35年余り、群馬地域密着で毎日延べ1,000件～1,500件のお客様先へ、g-loop（ジーループ）ブランドの軽車両～2t車で集配を行っています。環境GSに取り組んで12年目になります。社員の安全と健康を第一に、環境GSやグリーン経営、健康経営優良法人等の認証を取得し、より環境にやさしく、働きがいのある会社づくりに取り組んでいます。そして地域社会、お客様に信頼される会社を目指しています。

現場からひとこと

エコ運転として燃費の前年度比2%向上を目標にしております。毎月開催する勉強会で全車両の燃費を表示し、自分が使用する車両の燃費を確認しています。また安全省燃費車の導入も定期的に行っております。環境方針として全社員持っている手帳型経営計画書にも表記して展開しています。今後も社員一丸となって環境GS活動に取り組めます。

株式会社工裕精工



認定番号 200731
住 所 高崎市白岩町425-2
(本社工場)
電話番号 027-343-9929
従業員数 50名
事業内容 金属部品の製造、販売、
又それらに付帯する事業全般
代 表 者 代表取締役 工藤 裕幸
GSマネージャー 金森 進吾

わが社の一押し

弊社は平成6年創業以来、主にNC旋盤、マシニングセンター等の工作機械を駆使した機械加工屋として、事業活動をして参りました。

【職業を通じ誰からも「まかせて良かった」と思ってもらえる人間・企業を目指し続ける】を確固たる経営理念として日々、精進をさせて頂いております。

まだまだ力不足の弊社ですが、お客様にお育て頂いてここまでやって参りました。品質、コスト、納期、その他、お客様のご要望なら何でも当社にお声掛け下さい。

その難問に我々は懸命に取り組み、勉強し、成長をさせて頂いております。

現場からひとこと

環境GS認定は継続13年目となります。

主な取り組みとしては、工場消費電力削減、事業活動から生じる廃棄物に掛かるコストの削減に取り組んでおります。

微力ではありますが、地球環境に優しい企業を目指し活動しております。

農林中央金庫 前橋支店



JAバンクキャラクター：よりそう

認定番号 200774
住 所 前橋市亀里町1310
電話番号 027-220-2700
従業員数 102名
事業内容 農林金融業
代 表 者 支店長 波多 信宏
GSマネージャー 神奴 隆之
GSサブマネージャー 福田 邦広
GSサブマネージャー 今泉 直美

わが社の一押し

私たちは、県内15のJAからなる「JAバンク群馬」の一員であり、各地域のJAにおける、農業貸出やローン、年金、iDeCo等の取扱いをサポートしています。

また、県内農業法人等のお客さまを対象に貸出や出資等の金融商品を提供することにより、県内農業の発展および地域の皆さまの暮らしに寄り添ったサービスを提供しています。

現場からひとこと

環境GS認定を取得し13年目を迎えました。

当支店では「環境GS認定制度・認定書」を名刺サイズで作成し全職員に配付することで、職員の環境問題解決への取組意識を高めています。

日頃から、エアコン設定温度の調節や階段利用による電気使用量削減、Web会議の積極的導入やハイブリッド車の優先利用によるガソリン使用量削減など、業務の中で様々な取り組みを行いエネルギー使用量の削減に努めています。

株式会社戸部組



認定番号 221260
住 所 沼田市下沼田町808-1
電話番号 0278-23-1043
従業員数 103名
事業内容 総合建設業/解体工事
産業廃棄物収集運搬及び処分業
代 表 者 代表取締役 戸部 和明
GSマネージャー 佐藤 和博
GSサブマネージャー 阿部 美希子

わが社の一押し

弊社は、群馬県沼田市に本社を置き、主として構造物及び工作物の解体工事、土木建設工事、産業廃棄物収集運搬及び処分業を行っています。「大切にしよう少ない資源」をモットーに建物を建てるだけではなく、解体とそれに伴う産業廃棄物の適正な加工処理、リサイクルまで行い環境負荷を低減する循環型社会に貢献しています。

今後も限りある資源を大切に考え、環境にやさしい会社を目指してまいります。

現場からひとこと

環境GS認定を頂き、環境問題への意識が向上してまいりました。社員の節電意識を高めたり、燃費性能が高く排出ガスに配慮されている重機を導入するなど環境負荷軽減に取り組んでいます。今後もより一層社員一人一人の環境に対する意識を高めるとともに地域社会に貢献できるよう取り組んでまいります。

ワンポイント アドバイス ONE POINT ADVICE

環境GS
推進員



今回は、
雨森 淳さん
からのアドバイスです。

GS活動を継続するうえでの課題について

●課題になっていること

1. 成果が頭打ち

「紙・ごみ・電気」の削減活動による環境負荷低減は、2～3年で成果が頭打ちに。当初は省エネ・省資源効果が顕著で、コスト削減効果も得られたが、今は限界に達してしまっている。

→環境負荷削減から新たな環境価値創造を組織内から引き出す方向への内容の拡充とテーマの転換が必要であり、自組織内の「紙・ごみ・電気」の削減目標のみではなく、サプライチェーンへの働きかけや環境に有益な取り組みの推進、また業務改善やCSR（企業の社会的責任）といった分野への取り組み拡大や、新領域で成果を得られる方向への運用が重要になります。またその後の技術革新で削減効果が見込めることも多々あるので、一度頭打ちとなった「紙・ごみ・電気」削減も継続管理しておくことがよいでしょう。

2. 運用の負担感

成果と実務負担のバランスが著しく崩れたとき負担感が増大します。成果が頭打ちの状況や、成果が出ているのによくわからないときなど、負担感が増している可能性が高いです。

→環境活動も浸透度・徹底度・レベルや社会的要請また技術革新などの変化に合わせたアップデートが必要です。他のマネジメントシステムとの統合やバランス化の工夫が有効な場合があります。

3. 当事者意識が醸成されない

多くの社員は共通の「紙・ごみ・電気」の削減活動に終始、一部担当者のみが運用実務に携わるとき、社員間に「環境担当部署の仕事だ」とか「仕事が忙しいのでやっていられない」というような他人ごと意識が形成されます。

→環境配慮に取り組むミッションを各構成員に落とし込む工夫が必要になり、コミュニケーションの活性化や役割・責任体系の見直しが必要です。役割や責任が与えられないところに意識が芽生えることは難しいです。

4. 適切なフィードバックが不足

計画や手順の実施や指示はあるが、取り組み結果のフィードバックがない状況は、いずれ取り組み意識の低下要因となります。指示待ち風土が生まれやすくなり、積極的な参加による成果期待は難しい状況です。

→マネジメント職の適切で明確なフィードバックがあつてこそより有効な機能が期待できます。

5. 成果が見えづらい

取り込みのステークホルダーへの周知、実施した環境教育や研修の成果指標、自然環境保護の活動や生物多様性の保全活動の推進などのように、直接的なCO₂削減項目のように定量的に結果を把握しづらく、目的目標の設定も曖昧に感じ成果も見えづらいという場合があります。

→成果指標には、一般的な「成果指標」と成果につながる具体的な行動を示す「活動指標」などの考え方があり、代用特性の設定など活用して見える化を図ります。

●活動を継続するために

このような課題でお悩みの事業主の方は、環境GS推進員の派遣制度もあります。お気軽に事務局へご相談ください。環境はとても広い概念です。CO₂削減活動もマクロで捉えると経営の本来業務として捉えることが可能です。PDCAサイクルによる継続的改善はまさに経営の根幹であり、経営体質を強くしていきます。CO₂削減や環境活動が金科玉条と捉えるのではなく、適度な余裕を持ち、プロセスを楽しみながら目標に向かって着々と活動される、このようなイメージで活動されることを推奨いたします。

補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その26

はじめに

「補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その26」をお届けします。今回は、昨年12月に閣議決定がなされた「令和2年度第3次補正予算案」及び「令和3年度当初予算案」について、お知らせいたします。本記載内容は昨年12月に公表された予算案の概要情報であり、変更となる可能性がある旨をご了承ください。各詳細については、補助金事務局または執行団体HPよりご確認ください。

■ 「令和2年度第3次補正予算案」「令和3年度当初予算案」での主な補助金

事業名称	内容			
【3次補正予算】 中小企業等事業 再構築促進事業	ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために中小企業等の事業再構築（新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編、規模拡大等）を支援する。 <補助対象要件> ①売上高（直近6ヶ月間のうち、任意の3ヶ月の合計）がコロナ以前と比較し、10%以上減少している中小企業等 ②事業計画を認定支援機関等と策定した中小企業等 ③補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上の増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%（一部5%）以上増加の達成 <補助額・補助率>			
	区分・枠組		補助額	補助率
	中小企業	通常枠	100万円～6,000万円	2/3
		卒業枠（中小から中堅へ成長）	6,000万円超～1億円	2/3
	中堅企業	通常枠	100万円～8,000万円	1/2(4,000万円超は1/3)
グローバルV字回復枠		8,000万円超～1億円	1/2	
【3次補正予算】 中小企業生産性 革命推進事業の 特別枠の改編	ポストコロナに対応したビジネスモデルへの転換に向けた中小企業等の取組みを支援するため、一次・二次補正での措置「特別枠」を「低感染リスク型ビジネス枠」に改編する。			
		低感染リスク型ビジネス枠		通常枠（参考）
	ものづくり補助金	対人接触機会の減少に資する製品開発等のための投資	1,000万円 2/3	1,000万円 1/2(小規模2/3)
	持続化補助金	ポストコロナを踏まえた新たなサービス等の取組	100万円 3/4	50万円 2/3
	IT導入補助金	複数業務を非対面化する業務形態の転換に資するITツール導入	450万円 2/3	450万円 1/2
【当初予算】 先進的省エネルギー投資促進支援 事業費補助金	工場・事業場において実施されるエネルギー消費効率の高い設備への更新等を支援する。			
			補助率	
	先進事業	先進的な省エネ設備導入等の省エネ投資		1/4～2/3、定額 (事業区分・企業規模等により異なる)
	オーダーメイド型事業	特注設備等の導入や複数事業者が連携する省エネ取組		
	指定設備導入事業	省エネ性能の高い設備への更新		
エネマネ事業	エネマネ事業活用による省エネ取組			

補助金の相談窓口

補助金の相談は群馬県地球温暖化防止活動推進センター（TEL 027-289-5944）まで。事例に精通したGS推進員を派遣しますので、お気軽にご相談ください。また下記サイトでは最新の補助金情報を掲載していますので、参考にしてください。

「ミラサポplus」<https://mirasapo-plus.go.jp/>

文責：環境GS推進員 関 誠



令和2年度実績報告・令和3年度継続申請書作成のお願いについて

継続申請書をこのG S ニュースに同封させていただきましたので、準備についてよろしくお願いいたします。提出期限は例年と同様6月末までです。

詳しい作成方法については県HP「『環境G S 認定制度令和2年度実績報告・令和3年度継続申請書』作成の手引き」(<https://www.pref.gunma.jp/04/e0110026.html>) をご確認ください。



省エネ診断をご活用ください

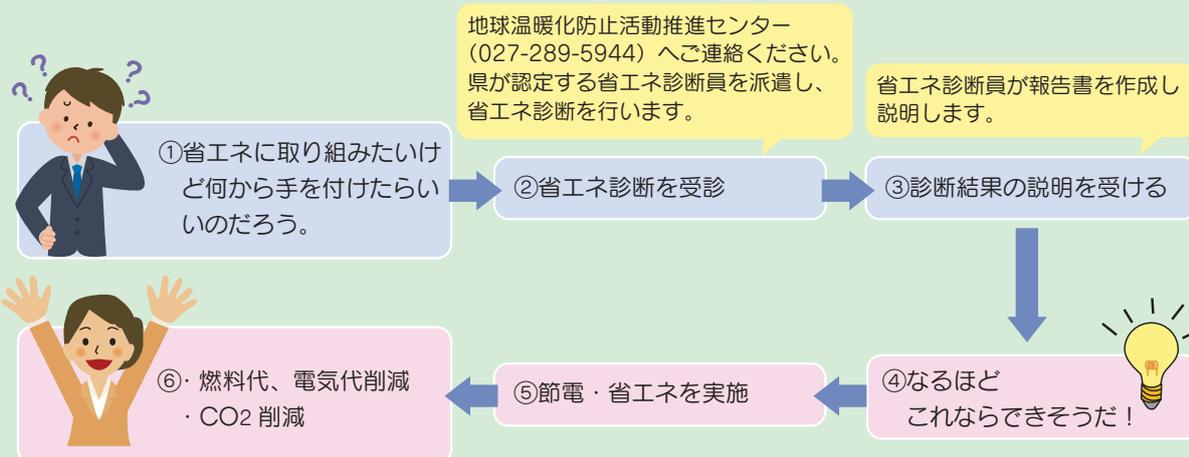
・省エネ診断員の派遣

工場や事業所等のエネルギー消費量の削減について、具体的な省エネの取組や改修計画を提案できる有資格者を「省エネ診断員」として**無料**で派遣します。

現状と問題点を把握し、改善策に取り組むことで、エネルギーコストの削減や温室効果ガス排出量の削減につながります。

派遣を希望される方は群馬県地球温暖化防止活動推進センター(027-289-5944)へご連絡ください。

・派遣申込みから結果説明までの流れ



エコドライブ支援装置を貸し出しています

エコドライブ支援装置 (ECO-SAM) の貸出を**無料**で行っています。

装置の端末を自動車のソケットに差し込むと、運転の仕方が記録されます。記録されたデータは事務局(群馬県地球温暖化防止活動推進センター)で解析を行います。

解析したデータをもとにエコドライブを実施し、温室効果ガス・燃料費等の削減に役立ててみてはいかがでしょうか。

○申請…県ホームページより「群馬県エコドライブ支援装置利用申請書」をダウンロードのうえ、群馬県地球温暖化防止活動推進センターへ送付

Fax : 027-289-5945 E-mail : info@gccca.jp

○貸出期間…貸出日・返却日を含め2週間以内

○エコドライブ支援装置の記録可能時間…最大約60時間(約1週間程度)

※エコドライブ支援装置は数に限りがあるため、貸出台数および貸出期間を調整させていただくことがあります。

